東京都あきる野市鎮座

稲足神社（いなたり）

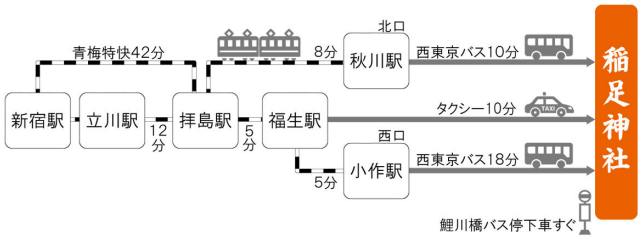
■交通のご案内

■お車をご利用の場合

圏央道 日の出インターから2km
（関越道鶴ヶ島JCT/中央道八王子JCT/
東名高速道路海老名JCT 経由）

■電車・バスをご利用の場合

五日市線秋川駅から西東京バスで10分
青梅線小作駅から西東京バスで18分



稲足神社

〒197-0801 東京都あきる野市菅生871番地

社務所 ☎042-558-7776

Webサイト https://www.inatari.or.jp/

メール inatari-jinja@inatari.or.jp

稲足神社縁起

一 鎮座地

東京都あきる野市菅生八七一番地

一 由緒

寛文九年の創立。明治以前は東京都江東区亀戸の真言宗普門院の主管であったが明治元年亀戸香取神社の奉仕となる。
その後香取神社の一隅に在る末社的神社として歩んできたが、香取神社社殿建て替えに伴い昭和六十三年四月独立した神社としてこの地に遷座された。以来崇敬神社として地元のみならず広く遠方より参拝者が絶えない。

一 御祭神

面足尊（おもだるのみこと）　惶根尊（かしこねのみこと）

神世七代中第六代の神で面足尊は男神、惶根尊は女神である。
男性・女性という二柱対偶の神ということから自然界における陰と陽を表すとされ、相互補完的な力の作用や自然の生成、産霊の力などを神格化したものとされる。また、他説においては対偶神相互の賛美とする説や、国土が整ったことを意味する説もあり、国産み神話において重要な伊弉諾尊（いざなぎのみこと）、伊弉冉尊（いざなみのみこと）に繋がっていく神であることがうかがえる。

一 社殿

昭和六十三年緑豊かな当地が神域として整備され、木造流れ造りの本殿他が完成し遷座が果たされた。その後、参拝者の増加に伴い崇敬者等の篤き願いにより、平成十六年火難、盗難に対処した現在の社殿に建て替えられた。拝殿天井には太陽、稲穂を中心に神饌を題材にした崇敬者等の筆による檜柔柾目板の格天井が奉納されている。

一 行事

例祭　九月十五日

一 御祭神

韋駄天尊神（いだてんそんしん）

増長天八大将軍の一宮として甲冑に身を固め走ること疾風の如くと称され、仏法衆生交通の守護神として霊験あらたかなりと篤き信仰を集む。

一 御神徳

韋駄天尊は勇猛迅速の譬を以て、古来諸大名の間に守護神又は戦神として祭祀され、世の信仰者からは勝負事の神、若しくは足の神として尊崇せられ、殊に腰部より足先にかけての疾患等はその信心により癒ゆるとされている。また、食事に不自由しないと云われていることから寺院の厨房に祀られ、子供の守り神として特に病魔を退散させるとも云われている。

一 行事

韋駄天尊神例祭　十一月八日

稲足神社霊園

約一万坪の墓域（含納骨堂）を有し、神職が毎日御霊を御祀りしている。

一 行事

春御霊まつり　春分の日
夏御霊まつり　七月十五日
秋御霊まつり　秋分の日

御霊まつり

御霊殿

韋駄天尊神殿

韋駄天尊像

拝殿天井画

本殿